

コード	302021301
記入日	H26.6.2

課コード	110
課名	福祉長寿課
課長名	峯脇 泉
担当者	荒木 愛一郎

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	地域福祉活動補助事業
----------	------------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	302	施策名称	協力し支えあう地域福祉の推進	項コード	1
基本事業コード	30202	基本事業名称	地域福祉推進体制の整備	目コード	1
事務事業コード	3020213	事務事業名称	地域福祉活動補助事業費	細目コード	1036
関連計画	地域福祉活動事業補助金	法令・条例規則等	新上五島町地域福祉活動事業補助金交付要綱		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 社会福祉法人 おかげのマリア会	(対象2)	(対象指標1)	1団体			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として福祉増進を図る。 ①つどいの広場事業 ②生きがい活動事業	***** 事業実施件数	***** 2件	***** 100%	***** 事業実施件数÷ 事業計画件数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	当初計画していた2事業について全て実施した。			
		***** 補助金交付件数	***** 1件	***** 100%	***** 補助金交付件数÷ 補助金申請件数	***** 平成25年度
		② (達成率分析)	内容を審査し、申請どおり交付した。			
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・仲知、津和崎地区の乳児から高齢者までが集う場として「青空ふれあいの広場」を開設し、その中で「生きがい活動事業」「つどいの広場事業」を実施し、地域の高齢者福祉及び児童福祉の増進に努める。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 利用登録者数	***** 39人	***** 100%	***** 利用登録者数÷ 利用申請者数	***** 平成25年度
		① (達成率分析)	地域住民のニーズに添い、地域の児童を巻き込んだ高齢者の集いの場として地域に定着した福祉事業が実施されている。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 件	20	20	18	2	2				
	② 件	7	7	6	1	1				
成果指標	① 人	39	39	38	39	39				
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	38,736	38,736	34,422	4,314	4,314				
直接事業費 A	千円	38,736	38,736	34,422	4,314	4,314				
人件費 B	千円									
内訳	従事職員数	人								
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	9,800	9,800	5,500	4,300	4,300			
	その他	千円								
一般財源	千円	28,936	28,936	28,922	14	14				

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ● ない	理由	以前は、青空へき地保育所の廃園で児童福祉の色合いも強かったが、高齢化が進む中、特に一人暮らしの高齢者のやすらぎの場となっている。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる ● いない	理由	地域の実情に即した事業が行われており、成果は上がっている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	地域で取り組み内容を充実させることで成果は向上する。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる ● いない	理由	地域の活性化が図られており、成果は上がっている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	以前は、少子化であずかり保育事業の色合いが強かったが、高齢者の集いの場、地域の交流の場として定着している。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	少子化による高齢者むけの事業に切り替えの改善策が1次評価にあがっていたが、高齢者を中心とした年中行事が展開されている。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	地域における福祉活動を推進するため、高齢者のつどいの場、地域の交流の場として地域住民のニーズに沿った活動の場となるよう、今後も地域の高齢者等の福祉増進に努めること。
------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。